



## 子どもの居場所づくり (3) 子ども放課後活動支援

YMCA 石巻支援センターは2学期より市内の小学校や施設、市役所と協同して、市内放課後児童クラブ(学童保育)にボランティアを派遣し、子どもの放課後プログラムとケアを行なっています。これまで、東京 YMCA 山手学舎、神戸女学院 YMCA、全国学生 YMCA 合同チーム、東京 YMCA Liby などに連なる青年たちをボランティアとして派遣しました。

活動としては YMCA が遊び道具とプログラムを持参して、子どもたちと時間の許すかぎり一緒に遊ぶというものです。震災により被災をし、他の学校の敷地内に仮設の校舎を立てて授業を行なっている学校が市内には数多くあります。そのような学校では、放課後外遊びができないため、放課後プログラムは室内で行われます。ボランティア初日をを終えた学生達からは、よく「被災地の子ども達が予想以上に元気なので驚いた。安心した」という感想が聞こえてきます。しかし、学校や学童の職員から話を伺うと、被災地の子ども達を巡る、より深い現状を知ることができます。



室内でも、おもいっきり遊ぶ

ある学童保育の先生は言いました。「子どもたちがこんなに元気に全力で遊ぶのは久しぶりに見ました。ボランティアのお姉さん達にべったり甘えていましたね。実は、〇〇君と××君のお母さんは津波で犠牲になったんです。家に帰っても甘える人がいないんですよ。今日こんなに甘えていたのはそのせいなのでしょうね。今日はこの子達の居場所になってくれて、本当にありがとうございました。ぜひまた来てくださいね」喋り終わると先生は目に涙を浮かべていました。先生自身も子どもたちと同じ地域に住む、母親の1人であり、被災者でした。

YMCA の子ども支援活動はまさに彼らの「居場所」作りだと日々感じています。全力でぶつかってくる子どもに全力で応え、子どもが子どもらしく、遊ぶ、学ぶ、甘える、泣くといった権利を守ることが、私達にできることです。彼らが失ったものの完全な代わりにはなれなくとも、それでも彼らの心身の健全な成長を支えるために寄り添うことができます。これこそが広義の「心のケア」なのではないかと考えています。



上：理科の実験あそびに夢中

下：放課後プログラム、解散前に記念写真



### 東日本大震災救援復興募金

- ・ゆうちょ銀行(郵便振替)
- 振替口座:00120-7-714728
- 名義:公益財団法人 東京 YMCA
- ・銀行振り込み
- みずほ銀行 神田支店 普通 1677931
- 三井住友銀行神田支店 普通 7656469
- 名義:公益財団法人 東京 YMCA
- ※「東日本震災」とお書き添えください。